

# のり養殖通報第12報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成27年3月4日発行

## [気象]今後も周期的に低気圧通過

- 2月下旬は寒暖差が激しく、一時的に暖かい日が出現しているが、気温は概ね平年並みで経過している(図1)。
- 2月21日～3月3日の木更津観測所における降水量は66mm(平年41mm)、平均日照時間は3.5時間/日(平年5.4時間)。周期的な天候の変化でまとまった降雨があり日照時間は平年を下回った。
- 気象予報によると、今後、気温は平年並みで経過し、周期的に低気圧が通過して天候が変化すると予報されている。

## [海況]栄養塩は回復。

- 内房ののり養殖漁場への外洋水の波及は弱まり、湾口部の水温は14℃台。新富津のり養殖漁場における観測値水温も現在は概ね11℃台で経過している(図2)。
- 3月3日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は概ね内湾9～10℃台、内房ののり養殖漁場は10～11℃台で1月下旬からほぼ横ばいが続いている。植物プランクトンは小型の珪藻(スケルトネマ等)が見られる程度で、最も色落ち被害をもたらすユーカンピアの割合は増えていない。栄養塩は湾奥部でリンがやや減少しているが、多くの調査点では半月前の調査結果より回復しほぼ問題の無い量が含まれている(右表)。

## [今後の見込みと留意点] 栄養塩持続に期待。生産のピーク形成を

- 栄養塩レベルは一進一退を繰り返しているが、今後も周期的な天候の変化が予報されており栄養塩持続が期待できる。
- 全国の主力漁場では栄養塩の減少で色調低下が進み網上げも始まっている。今後も色調の良いノリには堅調な価格が期待できる。良質ノリを増産し、生産のピークを築いて下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。

次回は3月18日頃発行します。

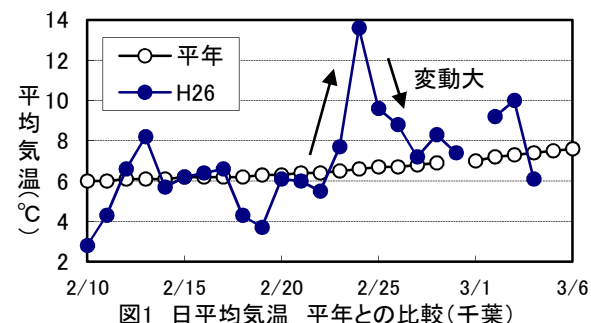


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

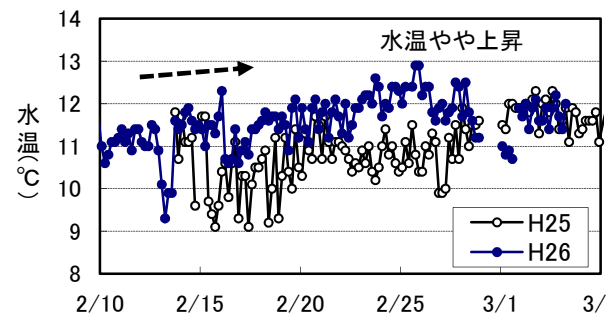


図2 昨年と今年の水温経過(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(3/3)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	9.4	31.5	8.3	4.3	421	7
盤洲Cブイ	10.5	31.5	8.2	4.5	420	13
盤洲Aブイ	10.3	31.9	8.2	4.7	404	13
富津ベタ	10.4	31.6	8.2	4.5	420	14
2海ほ下	11.1	32.7	8.2	5.5	336	15
大貫沖	11.6	33.1	8.2	6.0	297	14
湊沖	11.8	33.3	8.3	6.0	214	11

\*溶存無機態窒素 (μg/l)、\*\*リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量=窒素100、リン10